

IV Guidance on Study Abroad

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 松田, 紀子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029357

IV 海外学生派遣

熊井 浩子／松田 紀子 他

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国際連携推進機構が実施している令和3年度4月から7月実施のプログラムについては、令和2年12月の時点で感染症危険レベル3以上は中止、レベル2については個別の派遣の可否を検討するという方針を決めたが、その時点で派遣該当国は全てレベル3であったため、この期間の派遣は中止となった。さらに令和3年3月の時点で令和3年度8月から12月の派遣についても同様の方針で検討した結果、レベル2の地域はあったものの、安全に派遣できる状況ではないと判断し、こちらも中止が決定された。

しかし、6月15日付文部科学省通知により、大学間協定等に基づく1年間（実際の派遣期間9か月以上）のプログラムについては、条件を満たせばレベル2、3であっても8月から派遣可能という方針が出されたことに伴い、以下の5つの条件を満たした場合には9月からの派遣を認めることとなり、該当する大学間交流協定に基づく交換留学及びトビタテ！留学JAPANについての派遣を認めることになった。

〈派遣可能となる条件〉

- 1 本学が実施している留学プログラムによる留学であること。
- 2 派遣先が対面授業又は研修等を実施していること（一部でも対面授業を行っていれば可）。
- 3 渡航前にワクチン接種を完了することが望ましい。ワクチン接種の有無について国際交流課へ報告すること。
- 4 派遣先へのアプリケーションが受理され、入学が許可されること。
- 5 必要な場合は滞在許可（留学ビザ）が取得でき、派遣先への渡航がプログラム開始までに間に合うこと。

国際連携推進機構が実施しているプログラムの中で上記条件を満たすのは大学間交流協定に基づく交換留学とトビタテ！留学JAPANであったが、その結果、交換留学として8名が留学することになった。上記条件を満たさない夏季短期留学や春季短期留学等はいずれも中止となっている。

また、オンライン留学や語学学習支援、留学説明会等は例年通り実施した。

1. 大学間交流協定に基づく交換留学

留学先は以下の通りである。派遣学生の中にはもともと派遣予定期間が半年の学生もいたが、希望する場合には派遣可能年度内での延長を認め、1年以上という派遣のための条件を満たすことで派遣可能となった者も含まれている。また、4名の辞退者もあった。

なお、派遣前には通常前年度から3回で実施している留学前ガイダンスを1回にまとめ、日本イマージェンシーアシスタンスによるコロナ対応等のリスク管理も含めて実施した。

No.	部局	学年	派遣先大学名	派遣期間	
				開始	期間
1	情報	2	ラトビア・リガ工科大学	2021年秋	1年
2	人文	4	スロバキア・コメニウス大学	2021年秋	1年
3	人文	3	スロバキア・コメニウス大学	2021年秋	1年
4	教育	3	チェコ・マサリク大学	2021年秋	1年
5	教育	3	チェコ・マサリク大学	2021年秋	1年
6	人文	3	韓国・慶北大学校	2021年秋	1年
7	人文	4	アメリカ・ネブラスカ大学オハマ校	2021年秋	1年
8	情報	3	ハンガリー・オブダ大学	2021年秋	1年

2. オンライン海外研修

海外派遣に代わる措置として令和元年度末より実施していたオンライン海外研修については、全学教育科目の英語科目の単位認定に引き続き、令和3年度8月より初修外国語についても単位認定できるよう、制度を整えた。

参加者は夏季には英語と韓国語、スペイン語、中国語、合わせて12本のプログラムに24名が参加、春季には英語、韓国語、スペイン語の計8本のプログラムを用意したが、参加は2つのプログラム、計3名であった。

【令和3年度夏季】

●英語科目

- ①-1 カナダ・アルバータ大学オンライン短期プログラム
CSGCO (Communication Skills for Global Citizenship Online) プログラム 5名
- ①-2 カナダ・アルバータ大学オンライン短期プログラム
ESTO (English for Science and Technology Online) プログラム
- ② アメリカ・ネブラスカ大学オンライン短期プログラム
Shizuoka Summer Program Culture & Fluency 5名→中止
- ③-1 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs研修
Global Leader コース (グループ・マンツーマン) 2名
- ③-2 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs研修
TOEICコース/IELTSコース (グループ・マンツーマン) 4名
- ④ オーストラリア・ウーロンゴン大学 英語学習+SDGsプロジェクトワーク研修
Project Unite Sustainable Development goals in Focus 1名
- ⑤ オーストラリア・アデレード大学 英語学習+プロジェクトワーク研修
Global Jinzai Program
- ⑥ オーストラリア・ウーロンゴン大学 4 Week Virtual Study Tour 1名
- ⑦ オーストラリア・スインバン工科大学 English for Uni 1名

●初修外国語科目

○韓国語科目

韓国・慶北大学校 韓国語・韓国文化研修 Global Culture 2021 KNU Online Summer

School 7名

○スペイン語科目

スペイン・アルカラ大学 対話型スペイン語学習 アルカラ大学(ALCALINGUA)研修・オンラインコース 2名

○中国語科目

東華大学 中国語・中国文化研修 2021年中国語夏期講習 1名

【令和3年度春期】

●英語科目

①-1 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs研修 Global Leader コース (グループ・マンツーマン) 2名

①-2 フィリピン・GITC (Green International Technological College) 英語・SDGs研修 TOEICコース/IELTSコース (グループ・マンツーマン) 1名

プログラム終了後のアンケートでは、非常に満足度が高く、それぞれに語学力や人間的な成長を感じ、今後はこの成果を活かして留学や交流活動等を行いたいという意欲が見られた。そうした意欲を継続させ、次のステップに結びつけられるような制度設計や情報提供等の支援が非常に重要である。

また、その一方で参加者数から見ると、令和2年度の夏季・春季の参加者がそれぞれ12名、14名となっており、令和3年度夏季をピークに減少している。コロナ収束を見通して実際の留学の方に関心に移っている可能性もあるが、留学の代替というだけでなく、手軽に語学学習や現地の人等の交流ができる等、オンラインならではのメリットも決して少なくない。その点は参加した学生も十分評価しており、今後は学生のニーズに合ったプログラムの精選や開拓を進めるとともに、留学準備としての位置づけを明確にするなど、より魅力的なものにしていく必要がある。

3. トビタテ！留学JAPAN

静岡大学ではこのプログラムに採択されて令和3年度後期に留学を予定していた学生は計3名（うち地域版1名）となっていたが、派遣条件を満たす2名は辞退となった。

期	コース	滞 在 先	期間(か月)	所 属 学 部
2	新興国	中国	10	人文社会科学部
2	多様性	ニュージーランド	12	教育学部
4	多様性	フィリピン・タンザニア・オランダ	7	教育学部
4	多様性	ドイツ	12	人文社会科学部
4	多様性	アメリカ	6	人文社会科学部

期	コース	滞 在 先	期間(か月)	所 属 学 部
5	理系	ドイツ	12	工学部
5	新興国	グアテマラ・パラグアイ・アルゼンチン	12	人文社会科学部
7	世界トップ	フィンランド	23	自然科学系教育部
10	理系	オーストラリア	9	総合科学技術研究科
10	新興国	マレーシア	10	人文社会科学部
10	多様性	チェコ、ドイツ	11	人文社会科学部
11	理系	ラトヴィア	10	総合科学技術研究科
11	理系	アメリカ合衆国	11	自然科学系教育部
12	理系	オランダ	10	農学部
7	地域人材	ドイツ	2	人文社会科学部
9	地域人材	カナダ	8	総合科学技術研究科工学専攻
9	地域人材	アメリカ	6	総合科学技術研究科情報学専攻
9	地域人材	ニュージーランド	12	地域創造学環
10	地域人材	チェコ	5	教育学部
11	地域人材	フィリピン・マレーシア	12	工学部

4. 海外留学フェア

令和3年度前期は5月27日、後期は10月7日にオンラインでの実施となり、それぞれ37名、26名が参加した。

また、国際交流ラウンジにて留学フェアアフターフォローを10月28日に開催したところ、10名が参加、さらに、定期的にTo the world!留学相談サロンという相談会を開催しており、令和3年度は6名が参加した。

5. 英語学習支援

静岡大学では「地域と連携したグローバル戦略（産業界等と連携したグローバル人材育成のシステムの開発と人材育成）」を掲げており、機構においても英語科目部と連携して学生の英語学習を支援し、交流活動、留学などにつなげることを目指している。令和2年度後期より、これまで実施してきたTOEFL ITP実施に加え、TOEIC学習・受験支援を実施した。

●TOEFL説明会及びTOEFL勉強会・TOEFL ITP（団体受験）

海外派遣の推進を目的として、TOEFLの試験情報の提供及び学内でITPテストの受験機会を設けている。令和3年度は、3回のITP（TOEFL団体受験）試験を実施した。

令和3年度 ITP TOEFL 学内試験： 2021/7/15、2021/9/30、2021/11/4
TOEFL勉強会： なし

●TOEIC学習・受験支援

令和2年度よりオンラインによるTOEIC対策集中講座およびTOEIC受験料補助を開始したが、令和3年度も以下のように実施した。

前期 2021年5月7日～8月6日：
オンデマンドTOEICスコアアップ講座実施（全13回）
8月19日(木)：TOEIC-Listening & Reading IP test（生協主催）受験
参加者66名（内受験者数：16名）
後期 2022年2月14日～3月18日：オンデマンド TOEIC講座実施（全5回）
2022年3月19日(土)～3月21日(月)：
TOEIC-Listening & Reading IP test（オンライン）受験
参加者45名（内受験者数：25名）

募集から2～3日で定員を超えたことから学生のニーズの高さがうかがわれ、令和4年度にも引き続き実施する予定である。また、より留学希望者に特化した支援という意味で、TOEFL講座も併せて計画中である。

●英語科目部との連携

令和2年度の新カリキュラム施行により、学生に早い段階から留学に興味を持ってもらうための科目として、全学教育科目の英語科目に英語コミュニケーション中級以上を履修条件とした「ESP I（留学）」が1年生を対象として開講され、国際連携推進機構はこの授業に協力している。この科目は、英語コミュニケーション中級以上が履修条件で、入学直後から海外留学に関する情報や知識を得ること、留学準備として英語を学ぶことを目的とする。国際連携推進機構教員は、留学プログラムやグローバルアジア特別教育プログラム（GASP、p.47参照）、国際交流ラウンジなど、本学が持つグローバル教育等のリソースについて情報を提供する。

令和3年度は、静岡キャンパスでは2クラス64名の受講者に対し3名の教員が4コマを使って、海外留学プログラム、GASP、国際交流ラウンジなどについて情報提供を行うとともに、各教員の多様な留学・海外実務経験を紹介した。浜松キャンパスでは1クラス38名の受講者に対し、2名の教員が4コマを使い、静岡キャンパスと同様の情報提供に加え、留学生との交流セッションや留学経験者の体験談などで協力した。

令和2年度との大きな違いは2点ある。まず、対面で授業を実施できたことにより、オ

ンデマンド（新入生セミナー）で提供されていた留学やGASPなどの情報を、直接届けることができた。加えて、留学経験談、留学生とのセッションや発表を対面で実施できた効果は大きい。また、令和3年6月以降、海外への渡航制限が徐々に緩和され、海外留学が可能な状況になった。現時点では、まだ海外留学者数の伸びに反映されるまでには至っていないが、留学への動機づけ強化が期待される。その効果測定とプログラム改善を目指し、アンケート調査を試行した。

令和4年度は、浜松キャンパスに1クラス増設され、両キャンパス2クラスとなる予定である。引き続き、英語科目部との連携維持、強化に努め、効果的に海外留学に関わる情報提供やイベント実施することで海外留学希望者の増加を促したい。

このように、コロナ禍ではあったが、交換留学が一部再開されたこと、オンラインプログラム等のグローバルプログラムや語学講座など、今後の留学につながる支援が活発に行われたことが令和3年度の特徴であると言える。